

創立昭和28年1月8日



TANABE ROTARY



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2011-12年度
国際ロータリーテーマ

「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」
-Reach within to Embrace
Humanity-
カルヤン・パネルジー
RI会長
大澤徳平ガバナー

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
(1) 真実かどうか
(2) みんなに公平か
(3) 好意と友情を深めるか
(4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
例会場 紀伊田辺シティプラザホテル
会長 伊賀 久記
幹事 福本 雅彦
会報委員長 柏木 壽夫
http://tanabe-rc.com/

承認 昭和28年3月2日
事務所 〒646-0031
田辺市湊1073-63
TEL 0739-24-2002
FAX 0739-26-0264
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「地区大会-4月8日-堺-」

●司会者
伊賀久記会長

●ソング
北国の春

●ゲスト

●ビジター

本日のプログラム 4/19

いちよし証券株式会社
田辺支店長
野島 隆秀 様

次回のプログラム 4/26

田辺市高速道路室
主任 中西 努 様
「高速道路ができるまで」

5月3日(木・祝日)は休会です

出席報告

	第2914回	第2915回	第2916回
会員数	84名	84名	84名
出席規定免除会員数	10名	10名	10名
出席計算会員数	82名	82名	81名
出席者	54名	62名	62名
出席率	66.67%	76.54%	76.54%
メイクアップ	13名	10名	
修正出席率	81.71%	87.81%	

メイクアップ

4月7日 伊賀、福本雅(地区大会)
4月8日 伊賀、福本雅、他18名(地区大会)
4月11日 中田(田辺東RC)

お祝い

会員誕生日 三谷方、坪井、榎本三
配偶者誕生日 植田康子(芳史)、三前さゆ里(剛)
横田裕季子(達夫)
結婚記念日 三谷方、脇村明、西嶋、堅田
在籍表彰 阪本(10年)

ニコニコ箱

☆久しぶりの出席です。よろしくお祈いします。・三谷方
☆三谷方外さん、本日卓話よろしくお祈いします。……
……伊賀、濱口、中松、山本、近藤、野村富、田上、
植田芳、植田英、田中、玉井、竹本、新藤、柏木、中田
☆地区大会、たくさんの方々のご参加ありがとうございました。
……伊賀
☆地区大会、32年振りに欠席しました。もう地区大会も
「メンジョ」して下さい。……渡部
☆地区大会の早朝、大変ご迷惑をおかけしました。……
……吉田透
☆地区ゴルフ大会で2位になりました。ちなみに賞品は

堺市の大仙病院の日帰り人間ドッグでした。誰か代わりに行きませんか? ……西嶋
☆地区ゴルフ大会にて4位になりました。会長に悪いですが自転車を頂きました。……福本雅
☆榎本三郎さんの前の桜が満開です。近くで花見をしています。……野村富
☆昨夜、白浜上空で1時間半さ迷いました。羽田-白浜間2時間30分、代金が割安になったのかな? ……長井
☆週刊女性自身に当社のでまり弁当が紹介されました。近畿で3位の人気だそうです。……矢野
☆今年度からみなべ小学校PTA会長をする事になりました。頑張ります。……松本

お知らせ

会長報告

- ・本日、第10回定例理事会を開催しました。会員家族会決算の件、ロータリー母親文庫寄贈の件、承認されました。田辺市・みなべ町・上富田町の図書館へ其々10万円寄贈します。
- ・4月8日の地区大会へたくさんのご参加頂きありがとうございました。
- ・2月の大阪府羽衣青少年センターに続き行われた地区大会での第31回青少年ライラ研修セミナーには、当クラブより研修生2名が参加しました。

幹事報告

- ・南方熊楠顕彰会より「第22回南方熊楠賞授賞式及び記念講演会」のご案内が届いています。5月12日午後1時30分より紀南文化会館小ホールにて行われます。ご参加頂ける方は、幹事またはクラブ事務局まで申し出お願いします。
- ・田辺ライオンズクラブより創立40周年記念誌が届いていますので回覧します。
- ・ザ・ロータリアン、わっと、近隣クラブの会報、日本ロータリー親睦ゴルフ第22回北海道大会のご案内が届いておりますので回覧します。

委員会報告

雑誌委員会

・ロータリーの友紹介。

ゴルフ同好会

・田辺東RCより4クラブ合同ゴルフコンペの案内が届いています。5月13日にラビーム白浜GCにて行われます。同好会以外の方も参加よろしくお願ひします。

次年度

長井保夫次年度幹事予定者

・4月15日2012-2013年度のための地区協議会が行われます。出席義務者の方は、よろしくお願ひします。
・4月26日例会終了後、次年度第1回クラブ協議会を行います。

近藤新治委員

新井康司会員

プログラム

会員卓話

『お釈迦様の教え』

三谷 方外 会員



さて、宗教を持っているのは人間だけであって動物+宗教=人間の式が成り立つ、といいます。移項して人間から宗教を引くと人間-宗教=動物となります。つまり「無宗教」と言っている方は、自分は「動物」だと言っている事になると思いますが、如何でしょうか？

お釈迦様は、釈迦国王である浄飯王(じょうぼんおう)を父に、摩耶夫人(ぶじん)を母として首都カピラ城近郊の町ルンビーニでお生まれになられました。出産をお母様の国で迎えるため帰郷される途中、お産が始まりルンビーニの花園でお生まれになったと言われていいます。

釈迦王国の王子様で、本名はゴータマ・シッダールタ、通称としてお釈迦様とお呼びしています。ここから大切な出来事です。

お母さんは産後のひだちが悪く、一週間でなくなりました。お母さんの愛情を受けずに成長した子供さんはどちらかと言えば「やんちゃで、やんちゃで、悪がきで困る」という子供さんではなく「何かにつけて憂鬱そうに物思いに耽る」ご性格であったようです。これはみなさまもご想像いただけると思います。

ここが大変大切な**仏教誕生の第一の要件**になります。

次に12才のころ、農業祭の儀式中1匹の小鳥が虫を食べました。更にその小鳥を鷲が捕まえて食べる状況を目にして、大変胸を痛められました。たぶんその場に居た堪れなくなって、逃げるようにして宮殿に戻り、そして坐禅をされ、姿勢や呼吸を正し、心を一つの対象に集中して静かに瞑想されました。

そして、ここで初めて「禅定」と言うものを体験されました。これが**仏教誕生の第二の要件**です。

「母親のいない悲しみ」に加えて「この宗教体験が」この世を何とかしたいとお考えになったと言われていいます。

成長された王子様、つまりお釈迦様が、ある時お城の中で、憂鬱そうに物思いに耽っていると、心配したお父さんの浄飯王が、気晴らしに遊びに出かけるように勧めました。

そこで、王子様(お釈迦様)はお城の東門から出かけられました。そこには、みすばらしい老人に出会い、若い者も必ず老いる事を知って、愕然とされました。

再びお父さんより、お城の外に出て、気を紛らわすようにと勧められ、今回は南門から外出されました。そこで病気の人を目にされました。健康な人にも必ず病が待っていると知って、また愕然とされました。

三度目は西門から出かけられますと、死者に出会い生あるものは必ず死ぬと感じられて、またもや愕然とされ、狂ったように城に逃げ帰られたお姿が想像されます。

四度目は北門から出られました。そこで出家修行者に出会われました。そのすがすがしい姿に感動されたお釈迦様は、自分もこのような生き方をしようと密かに決意をされました。

出家と言うと聞こえは良いが、全てを捨てる事です。衣食住歌舞何一つ不足のない満ち足りた快樂の生活を捨てることです。国を捨て・父親を捨て・奥さんを捨て・子供を捨て・何もかも捨ててホームレスに成る訳ですので、父の大王は「絶対に王子を門から外に出すな」と門番に命令するし、奥さんは出家をしないようにと泣いて離さず。子供は泣き叫ぶし。賛成する者がいるはずも無いのは当然です。しかしながら29歳のときに、ついに出家を断行されました。出家をされて、何をされたかといいますと、今までの満ち足りた生活と真反対の苦行の日々を続けられました。ガンダーラ仏に骨と皮だけになった釈迦苦行像をご覧になったお方も多いと思いますが、寝食を忘れて一心不乱に苦行を続けられました。想像も出来ないような苦行は6年に及びました。

しかし、いくら苦行を重ねてもお釈迦様の心は満たされません。それどころか心は悶悶とするばかりです。

ある日、お釈迦様は一人の農夫が「琵琶の糸を強く締めればぷつんと切れる。緩く締めれば音が出ぬ」とうたっているのを聞かれ、そうか、よい生き方をするには極端はだめなのだ。

宮殿の快樂生活も苦行生活も極端なのです。

そこで両極端を離れて菩提樹の元で坐禅をされ12月8日、35歳の時ついに悟りを開かれました。大急ぎで悟りを得られるまでをお話し致しました。これが仏教の始まりと考えております。

現在の社会は、勝つことによって良い暮らしをしようと必死に生きていますが、それはお釈迦様の教えに反します。毎日毎日をゆったり楽しく、人に勝つのではなく、お互いに助け合って生きていく、そうした生き方が「中道」の教えなのです。

日本の仏教は大乗仏教です。その教えでは老・病・死を「苦」と訳してありますが、この「苦」の原語の意味は「思うがままにならない事」といわれます。ですから「苦」には苦しみと言う意味は、ありません。「苦」は「明らかにする」と言う事です。

最初にご説明した、若き釈迦王子が城の門からでて目の当たりにした、老・病・死に愕然となさいますが、これらは苦ではない、これを苦と思ってはならない。「苦」イコール「明らかにする」。これがお釈迦様の結論で、教えの中心です。

つまり人生が幸福であるか、不幸であるかを決定つけるのは、私たちの「こころ」です。なかなか心は自分の自由にはなりません。いかにして心を清らかにするが？苦しみを乗り越える(明らかにする)様に心を管理する方法を見つけた方は幸福です。

